

いつまでも お元気で

上根・向山地域振興会主催 「敬老の会」を

9月25日(日)実施します

平素は、地域振興会活動にいろいろとご協力いただきありがとうございます。

この度、上根・向山地域振興会では、昨年に引き続き、会主催による「敬老の会」を下記のように開催することになりました。

皆様のご支援・ご協力のお陰をもちまして、当振興会もようやく活動が軌道に乗って来つつありますが、これもひとえに地域を長年にわたって支えてきていただいたご年配の方々の多大なご苦勞の賜物でございます。そうした人生の先輩への深い感謝の気持ちをこめて、地元の者が親しく「敬老の会」を開かせていただきます。どうかお誘いあわせの上、ご来場くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日	時	平成17年9月25日(日)	午前9時30分受付 午前10時開会・午後1時30分閉会
場	所	根野小学校体育館	
プログラム	10時~10時20分	開会行事・88歳以上の方々へ「お祝いの品」の贈呈 (休憩)	
	10時30分~11時50分	演芸 第1部(子ども和太鼓 他) (昼食・休憩)	
	12時30分~13時20分	演芸 第2部(カラオケ 他)	
	13時20分~13時30分	閉会行事	



八千代南保育園児の和太鼓

昨
年
の
会
か
ら



和やかに歓談(昼食)

旬な料理に舌鼓

「潜龍峡ふれあいの里」オープンイベント

7月31日(日)「潜龍峡ふれあいの里」において、昨年のレストハウス厨房の改修、今年度の水洗化工事の竣工と「潜龍峡ふれあいの里」の日頃の清掃活動に感謝して、オープンイベントを開催しました。

当日は夜半からの大雨で開催が心配されましたが、開会前の午前11時過ぎには薄日も射してきました。

11時20分からの開会式では、中川会長から「日頃の清掃活動をはじめ、諸般のご協力に対する感謝」の言葉があり、続いて安芸高田市増元助役から「上根・向山振興会はワークショップなどにより住民合意の活動を積極的に展開されており、今後も、『潜龍峡ふれあいの里』を拠点として、活動を推進されることを期待しております」とお祝いのあいさつがありました。

当振興会では、「潜龍峡ふれあいの里」の有効利用を図っていくために、今回のオープンイベントの経験を活かして、皆様からのご意見をいただきながら、その活性化の方策を検討して参りたいと考えております。



多くの方がヤマメ釣りを楽しみました

当振興会では、「潜龍峡ふれあいの里」の有効利用を図っていくために、今回のオープンイベントの経験を活かして、皆様からのご意見をいただきながら、その活性化の方策を検討して参りたいと考えております。



当地域以外からも沢山参加者がありました



安芸高田市増元助役のあいさつ



10種類のバイキング料理



松花堂弁当を作るふれあい部の皆さん

大豆の定植 地域が支える体験学習

体験する場づくり

7月7日、根野小学校6年生28人と八千代南保育園年長組6人が大豆の定植を行いました。

当振興会では、自然体験、社会体験、地域の文化に接する体験など様々な形の「体験」は、子どもたちが育っていくうえで、とても大切なことであると考えています。大豆やそば作りなどを通して、「地域全体が大きな学校」ととらえ、地域全体の中で、子どもたちの育成に大切な様々な体験の場を提供していきたいと思ひます。



苗を1本1本丁寧に植えました



「根野交流広場」では手作業で行いました

地域クリーン作戦

7月16日(土)「根野交流広場」と「潜龍峡ふれあいの里」の2箇所を清掃しました。

当日は時折小雨の降るあいにくの天候でしたが、「潜龍峡ふれあいの里」に集合し、2箇所に分かれて清掃を実施しました。2箇所合わせて80名あまりの方々にお手伝いいただきました。紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

夏休みの一日を 三世代で交流

8月5日(金)恒例の三世代交流を上根集会所で行い、子ども(35名参加)や多くの父母・祖父母の参加がありました。交流では、ビデオ観賞の後、当振興会田中副会長から金子みすゞの話があり、「大漁」の詩をみんなで朗読し、いのちの尊さを学びました。また、小学生の希望者にみすゞの詩を朗読してもらい、会は盛り上がりました。昼食では、地域ボランティアの方が作った野菜たっぷりの「焼きそば」と「おにぎり」をおいしくいただき、午後からは、ビンゴゲームなどをして楽しいひと時を過ごしました。この三世代交流も11回を数えます。今後も一層の充実をめざし努力して行きたいと思ひます。



金子みすゞのお話

楽しい食事時間



「霧切谷」の遊歩道整備にご協力を

10月8日（土）に実施します

上根と根の谷を結ぶ「霧切谷」について、昨年の地域マップづくりの話し合いの中で、遊歩道として整備し、日常的な利用を図れるようにしてほしいという提言が多く寄せられました。

「霧切谷」を遊歩道として整備すれば、上根から「潜龍峡ふれあいの里」を経て本郷までの地域資源を探索できる広域的なルートづくりが可能となります。

当振興会では、今年の3月19日と6月4日の2回にわたって、草刈り・不法投棄のゴミ収集を行い、一応上根から根の谷まで歩けるようにはなりましたが、まだまだ安全に歩くことができません。そこで、今年度市の「特色ある地域づくり助成事業」の認定を受けて、「霧切谷」の遊歩道事業に取り組みます。

今回は、道の石の除去や真砂土の搬入などを中心に次のとおり実施しますので、参加可能な方のご協力をお願いいたします。

日時 平成17年10月8日（土）

小雨決行 午前8時30分

「潜龍峡ふれあいの里」集合

道具は、各自で家にあるもの（草刈り機・鍬
スコップ・一輪車・てみ・カマ等）

なお、雨が多く降る場合は翌日の10月9日（日）に順延します。



「霧切谷」上根側入口

上根と向山の境を流れる余井川に沿って上根の坂口から根の谷に下る谷（道）を「霧切谷」といいます。

現在の「霧切谷」は、延長350mあります。この間を旧国道で行くと約2Kmありますので、「霧切谷」がいかに最短距離で上根と根の谷を結ぶかがわかりただけだと思います。

上根では、夏から初冬にかけて晴天の日の朝は、三次方面から霧（三次霧）が流れて来ますが、ここまで来ると霧が切れる（フェーン現象）ので、霧を切る谷「キリキリ谷」と言われるようになったといわれます。

「霧切谷」の思い出話

戦時中のバス（木炭車）は、馬力が弱いため客を乗せて登坂できないので、乗客は根の谷で降ろされ、「霧切谷」を歩いて登り上根で再び乗車していました。

上根峠バス停で乗り遅れても、「霧切谷」を駆け下りたら、根の谷でそのバスに間に合っ
て乗ることができました。

子どもの頃、根の谷に泳ぎに行くのに「霧切谷」を通るのが近道でした。また、可部まで行った帰りなど少しでも早く帰ろうとに自転車を押して「霧切谷」を上ったものです。